

新島襄関連の文献目録（40）

—著者・筆者別—

同志社社史資料センター

お知らせ

『同志社談叢』に掲載された「新島襄関連の文献ノート」(1)～(24)は、本学人文科学研究所により一括して再配列され、『新島襄関係文献目録』（非売品）として2006年12月に刊行された。

凡例

1. 配列は著編者名をアルファベット順にした。同一の著編者による文献は、発行（発表）年月日順とした。
2. 著編者については、次のような例外がある。
 - (1)無署名の文献のうち、筆者を特定しうる場合は〔 〕内に表示した。
 - (2)著編者が不詳の場合は、その文献が掲載されている雑誌名及び新聞名を著編者欄に掲げた。
 - (3)ペンネームの場合、それが本名より周知されている場合は、ペンネームに続けて〔 〕に本名を付した。
 - (4)翻訳の場合、著者（筆者）、訳者の順番で記し、訳者には適宜（訳）を補った。
3. 書名（論文名）は次のように表示した。
 - (1)単行本、研究紀要、新聞、雑誌には『 』を付した。
 - (2)論文名、記事、抜刷、パンフレット類には「 』を付した。
 - (3)英文単行本の書名はイタリックで表示した。
 - (4)同一文献内に同じ著編者の論考がある場合、それぞれ独立したものとして表示した。
 - (5)タイトルは原則的に原文どおりに表示したが、タイトルに「 』が含まれる場合、適宜『 』に変更した。
 - (6)タイトルに含まれる漢数字は、算用数字で表記した。
4. 出版事項は、次のように表示した。
 - (1)発行所、発行年は原本どおり表記するが、和暦年号は西暦に変更した。再版（以降も）の場合、内容等に関して大幅な改訂がない限り、初版の出版事項を記した。
 - (2)新聞・雑誌の場合、誌（紙）名、巻・号、発行年月、新聞の場合には発行年月日を付した。
 - (3)インターネット上の文献の場合はアドレス（URL）と閲覧年月日を記した。
 - (4)漢数字は固有名詞以外算用数字に変更した。

2022年1月7日現在

著者（筆者名）	題 名	出 版 事 項
D		
傳法美姫	「新島襄の脱国を支えたもの」	『2020年度 新島襄生誕記念懸賞論文 入選作品集』2021、同志社大学同志社社史資料センター、2021年3月1日
同志社社史資料センター	「同志社の逸品 新島襄が採取した薬化石」	『同志社時報』第151号、学校法人同志社、2021年4月1日
F		
古田咲来	「同志社の決意—新島襄の遺志を継ぐ—」	『2020年度 新島襄生誕記念懸賞論文 入選作品集』2021、同志社大学同志社社史資料センター、2021年3月1日
H		
林迪男、守田一夫	『同志社大学 ESS 創部100周年誌』	同志社大学 ESS OB・OG会、2021年9月
I		
井上勝也	「私の理解する新島襄」	『新島研究』第112号、同志社大学同志社社史資料センター、2021年2月12日
石川健次郎	「新島襄と時代サービス」	『同志社商学』72(6)（森田雅憲教授古稀祝賀記念号）、同志社大学商学会、2021年3月12日
K		
加藤萌衣	「新島襄の志を支えたものとは」	『2020年度 新島襄生誕記念懸賞論文 入選作品集』2021、同志社大学同志社社史資料センター、2021年3月1日
河田あさひ	「3人の母にみる理想の女子学生像とは」	『2020年度 新島襄生誕記念懸賞論文 入選作品集』2021、同志社大学同志社社史資料センター、2021年3月1日
木原活信	「ジョージ・ミュラーの来日をめぐる日本のキリスト教界の反応と社会福祉史への影響」	『キリスト教社会問題研究』第69号、同志社大学人文科学研究所、2020年12月20日
M		
三好彰	「新島七五三太の英語の語彙」	『新島研究』第112号、同志社大学同志社社史資料センター、2021年2月12日
望月修治	「志—同志社の座標軸—」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2019』、同志社大学キリスト教文化センター、2021年3月31日
森一郎	「下村孝太郎—新島から理科教育を託された男」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2019』、同志社大学キリスト教文化センター、2021年3月31日

森田喜基	「黎明期の頌栄と同志社—頌栄創立者アニー・ライオン・ハウを中心に—」	『新島研究』第112号、同志社大学同志社社史資料センター、2021年2月12日
本井康博	「『商法上ノ大王』 洪沢栄一と同志社—新島襄との交遊—」	『同志社時報』第152号、学校法人同志社、2021年10月1日
N		
新部桜子	「なぜ内陸群馬県でキリスト教伝道は成功したのか」	『2020年度 新島襄生誕記念懸賞論文 入選作品集』2021、同志社大学同志社社史資料センター、2021年3月1日
西川あいら	「J. D. デイヴィスと女子教育—教育者が残した贈り物—」	『2020年度 新島襄生誕記念懸賞論文 入選作品集』2021、同志社大学同志社社史資料センター、2021年3月1日
O		
小川原正道	『明治日本はアメリカから何を学んだのか—米国留学生と「坂の上の雲」の時代—』	文藝春秋、2021年11月
大越哲仁	『新島襄と八重夫妻—日本最初のモダン・カップル—』	大学教育出版、2020年12月
S		
末木孝典	「福澤諭吉をめぐる人々（その54）新島襄」	『三田評論』No.1253、慶応義塾、2021年3月
T		
高岸雅子、 飯塚まり	同志社建学の精神教育の盲点と海外から来た『ミニ新島襄達』— 日本語・日本文化教育センター 『同志社を学ぼう〜同志社建学の精神と新島襄の生涯』9年間の授業から考える」	『同志社大学日本語・日本文化研究』17号、同志社大学日本語・日本文化教育センター、2020年3月
徳田怜那	「新島襄はなぜ私立大学設立を目指したのか—岩倉使節団 米欧教育制度調査の経験が与えた影響—」	『2020年度 新島襄生誕記念懸賞論文 入選作品集』2021、同志社大学同志社社史資料センター、2021年3月1日
U		
植木朝子、 西山忠彦	「Special Interview 新島襄の志を現代へ。人を変え、世界を変える。—同志社大学学長 植木朝子氏に聞く—」	『ファイナンシャル・フォーラム』、京都総合経済研究所、2021年2月
Y		
横井和彦	「同志社の建学の精神と教育理念—『愛人主義』の視点から」	『良心之全身ニ充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ Doshisha Spirit Week 講演集 2019』、同志社大学キリスト教文化センター、2021年3月31日
吉海直人	「徳富蘇峰記念館所蔵 山本覚馬・新島八重書簡の翻刻と解題」	『新島研究』第112号、同志社大学同志社社史資料センター、2021年2月12日